3M

MOBILE

projector

取扱説明書

1. 安全にお使いいただくために ・・・

マルチメディアの概要 ····· 26
写真形式 ····· 26
ビデオ形式 ····· 26
オーディオ形式 ····· 26
USBメモリーを使いファイルをセットアップする ····· 27
マイクロSDを使いファイルをセットアップする ····· 28
内部メモリを使いファイルをセットアップする ····· 29
マルチメディアメインメニュー ····· 30
USB、マイクロSD、及び内部メモリに対するマルチメディアセットアップ 30
写真設定 ····· 31
ビデオ設定 ····· 32
音楽設定 ····· 33
ファームウェア更新 ····· 34
7. 付録 ····· 35
トラブルシューティング ····· 35～36
ガイド信号 ····· 37
互換モード(アナログ/デジタル) ····· 38
仕様 ····· 39～40
メモ用ページ ····· 41～43
8. 保証書について ····· 44
保証書 ····· 45

このたびは 3M™ モバイルプロジェクターをお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになられた後、本書はお使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

1. 安全にお使いいただくために

●次の注意事項は、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な事項ですので、必ず守ってください。

●注意事項は次のように定めています。

⚠警告	死亡、重傷および物的損害が生じる可能性がある潜在的に危険な状態を示します。
⚠注意	軽微、中程度の負傷および物的損害が生じる可能性がある潜在的に危険な状態を示します。

⚠警告

・幼児の手の届くところでの使用や、放置をしないでください。火傷やけがをする恐れがあります。

・火災や爆発を防ぐために:

- 本体を濡らさないでください。
- 必ず指定の AC アダプタをお使いください。
- プロジェクターを 35℃以上の環境下では使用しないでください。
- 本体を車の中など直射日光が当ったり、高温になるところには置かないでください。

⚠注意

・目を傷める危険の回避: 光源を直接見ないでください。

・転倒および衝撃に伴う危険の回避: 電源コードおよびデータケーブルは、人がつまずかないような位置に置いてください。

使用上の注意

・本器は精密機器です。本体を分解したり、改造しないでください。

・本体内部を開けないでください。

・本体や AC アダプタを濡れた手で触ったり、濡らさないでください。

・本体や AC アダプタを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

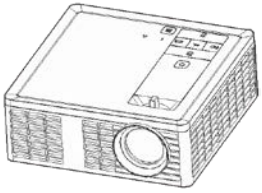
2. 商標について

・3M は、3M 社の商標です。

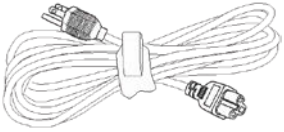
・その他、本文中に記載されている会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

3. 製品構成

・このプロジェクタには次のものが付属されております。



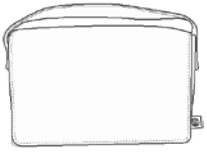
プロジェクタ



電源ケーブル

AC アダプタ

ユニバーサル 24ピン
VGA ケーブル



キャリーケース

オプションメニュー(別売)

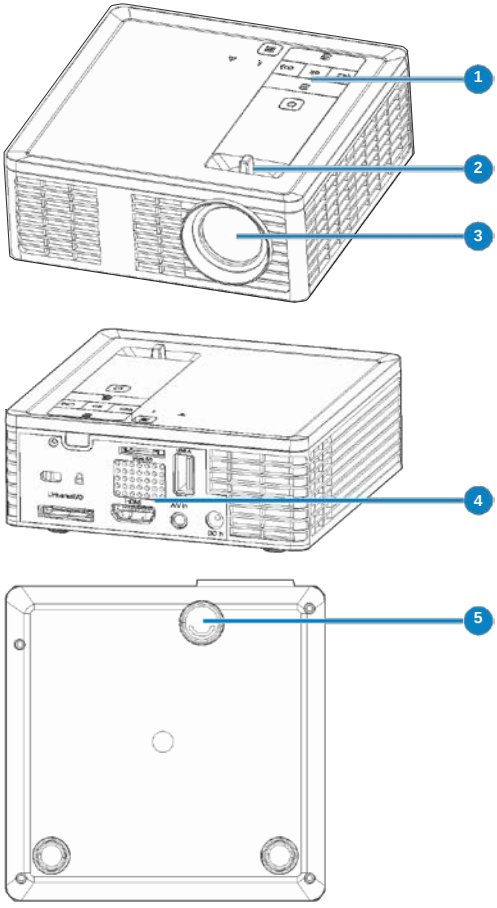
リモコン

USBワイヤレスドングル

メモ: リモコンは 電池無しで出荷されます。
USBワイヤレスドングルの使用方法は、弊社ホームページ(http://www.mmm.co.jp/vsd/)、もしくは
USBワイヤレスドングルに同梱されている取扱説明書をご参照ください。

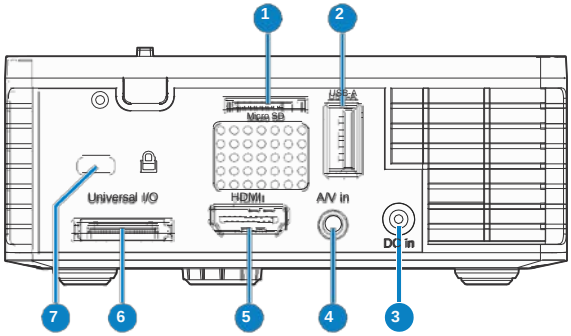
4. プロジェクタについて

本体



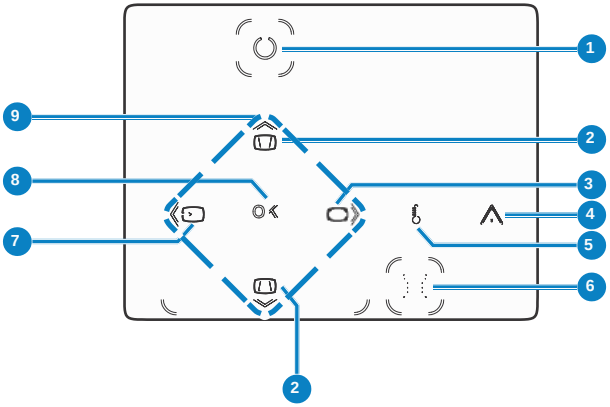
#	説明
1	コントロールパネル
2	焦点調整
3	レンズ
4	入力/出力接続
5	傾斜調整ホイール

入力/出力接続



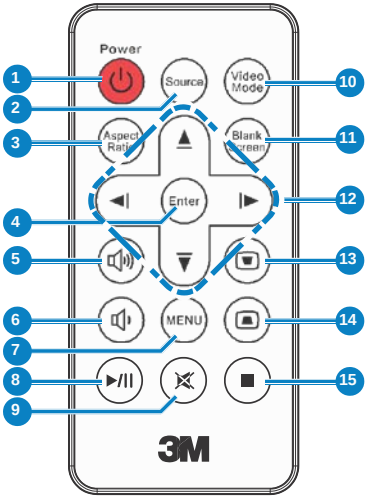
#	説明
1	マイクロSDカードスロット
2	USBタイプAコネクタ
3	DC 入力コネクタ
4	オーディオ/ビデオ入力コネクタ
5	HDMI コネクタ
6	ユニバーサル I/O コネクタ
7	セキュリティケーブルスロット

コントロールパネル



#	名称	説明
1	電源	プロジェクタの電源のオン/オフを切り替えます。
2	キーストーン調整	プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+/-40度)。
3	自動調整	プロジェクタと入力ソースを同期化します。 メモ: オンスクリーンディスプレイ(*OSD*)が表示されている場合は 自動調整は作動しません。
4	エラー LED	オレンジ色に点滅している場合 ファンの1つが故障し ています。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。
5	温度LED	黄色に点灯または点滅している場合 プロジェクタの内部温度が高すぎます。
6	メニュー	オンスクリーンディスプレイ(OSD) を起動します。方向キーとメニューボタン で OSD をナビゲートします。
7	ソース	ソースメニューに移動し 入力ソースを選択します。
8	入力	選択項目を確定します。
9	4方向選択キー	オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニュー項目をナビゲートします。

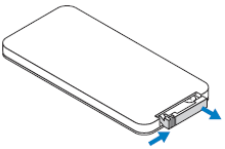
リモコン(オプション別売)



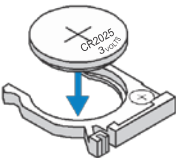
#	名称	説明
1	電源(Power)	プロジェクタの電源のオン/オフを切り替えます。
2	ソース(Source)	ソース(Source)メニューに移動し、入力ソースを選択します。
3	アスペクト比 (Aspect ratio)	表示された画像のアスペクト比を変更 します。
4	入力(Enter)	選択を確定します。
5	音量アップ	音量を上げます。
6	音量ダウン	音量を下げます。
7	メニュー(Menu)	オンスクリーンディスプレイ(OSD) 起動します。
8	再生/一時停止	メディアファイルを再生/一時停止します。
9	消音	プロジェクタのスピーカーを消音にしたり消音を解除します。
10	ﾋﾞﾃﾞｵﾓｰﾄﾞ (Video mode)	明るさモード、ムービーモード、PCモード、ユーザーモード、またはプレゼンテーションモードに切り替えます。
11	ﾌﾞﾗﾝｸｽｸﾘｰﾝ (Blank screen)	画像を表示したり非表示にします。
12	上/下/左/右	オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニュー項目をナビゲートします。
13.14	傾き調整	プロジェクタ の傾きによって起こるゆがみを調整します(+/-40度)。
15	停止	メディアファイルの再生を停止します。

リモコンのバッテリの取り付け(オプション別売)

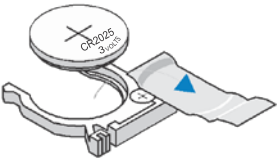
1. 側面をしっかり押し ､バッテリホルダーを引き出してバッテリホルダーを取り外します。



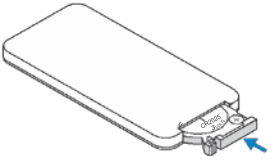
2. CR2025ボタン電池を入れ ､バッテリホルダーのマークに合わせて電極を正しい向きに合わせます。



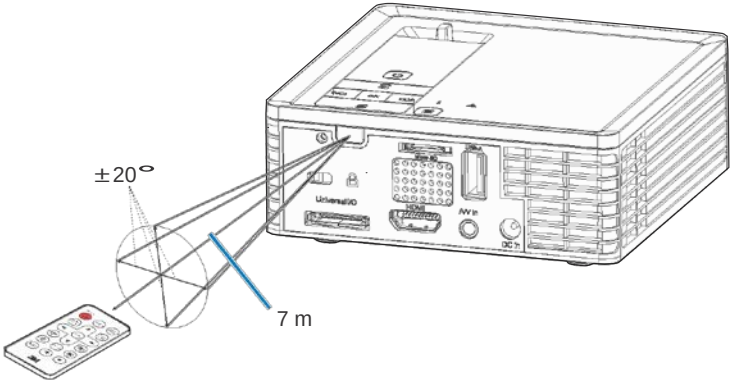
メモ: リモコンを初めて使用する際は ､バッテリと端子の間にプラスチックシートが挟んであります｡ご使用の前にそのシートを取り外してください。



3. バッテリホルダーを元に戻します。



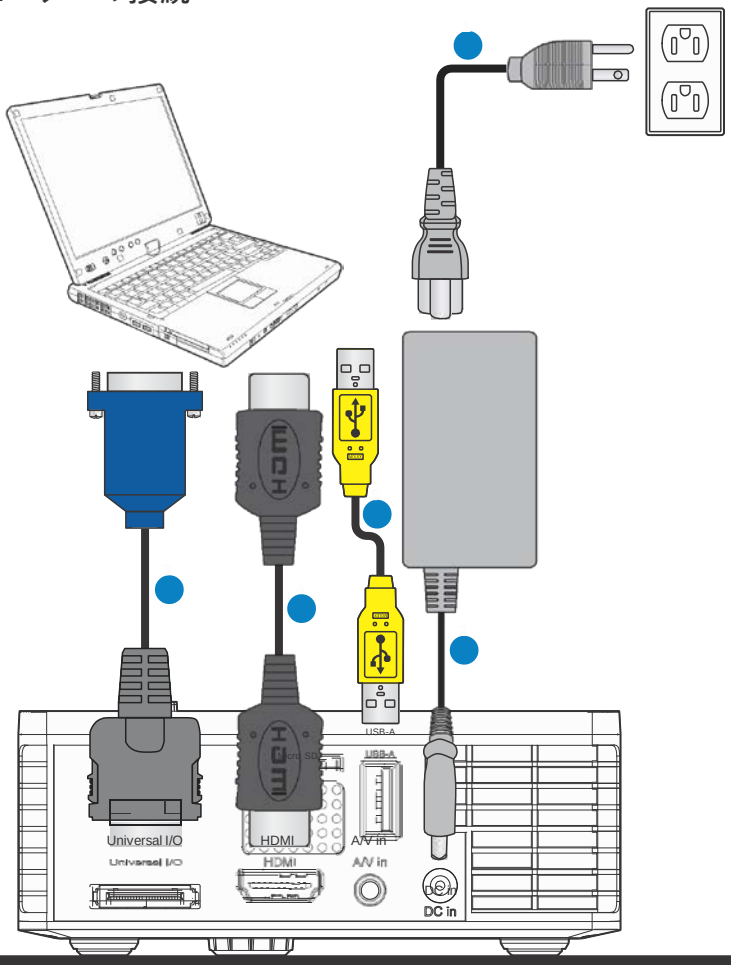
リモコン(オプション別売)の動作範囲



メモ: 実際の動作範囲は ､**上**図とわずかに異なることがあります｡更に ､電池が**減ると**リモコンの動作範囲が狭くなったり ､リモコンが動作しなくなります。

5. 設置

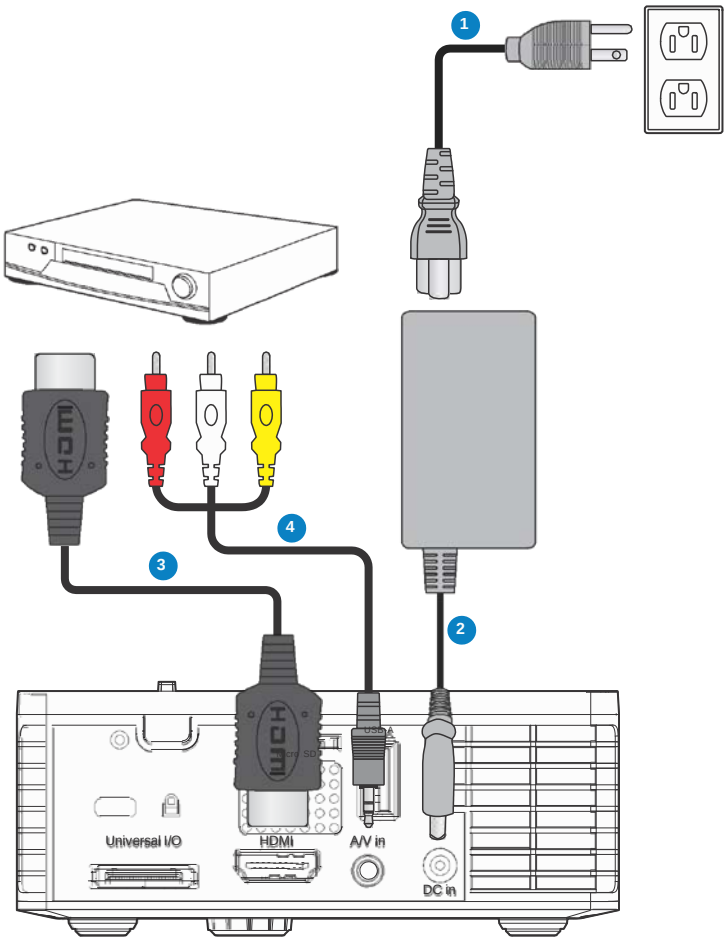
コンピュータへの接続



#	説明
1	電源コード
2	AC アダプタ
3	ユニバーサル 24ピン VGA ケーブル
4	HDMIケーブル *
5	USB-A - USB-A ケーブル *

* メモ: 付属品はプロジェクターに同梱されておりません。

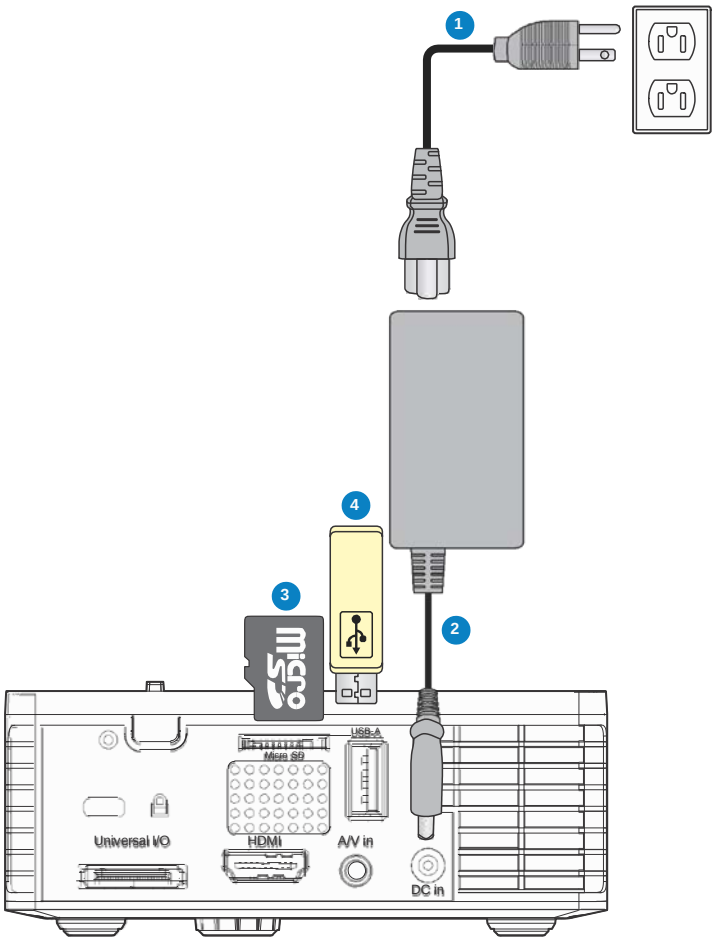
DVD プレーヤーへの接続



#	説明
1	電源コード
2	AC アダプタ
3	HDMIケーブル *
4	3.5 mm ジャック付き A/V - RCA ケーブル *

* メモ: 付属品はプロジェクタに同梱されておりません。

メモリーカードの接続



#	説明
1	電源コード
2	ACアダプタ
3	マイクロSD カード *
4	USBフラッシュディスク *

* メモ: 付属品はプロジェクタに同梱されておりません。

プロジェクタの電源を入れる

メモ: プロジェクタの電源をオンにしてから、ソース(コンピュータ、DVDプレーヤーなど)の電源をオンにしてください。

1. ACアダプタと一緒に電源コードと適切な信号ケーブルをプロジェクタに接続します。
2. **電源**ボタンを押します。
3. ソース(コンピュータ、DVD プレーヤーなど)の電源を入れます。
4. 適切なケーブルを使用して、プロジェクタにソースを接続します。
5. 入力ソースはVGAにデフォルト設定されています。必要に応じて、プロジェクタの入 力ソースを変更してください。
6. プロジェクタに複数のソースが接続されている場合は、リモコンまたはコントロールパネルの **ソース**ボタンを押して、希望するソースを選択します。

プロジェクタの電源を切る

1．電源ボタンを押し、「電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオフにします。」というメッセージが画面に表示されます。メッセージが5秒後に消えるのを待つかメニューボタンを押してメッセージを消去します。

2．プロジェクタを適切にオフにするには、電源ボタンをもう一度押します。冷却ファンが120秒間作動します。

3．時間を掛けずにプロジェクタの電源を切るには、プロジェクタの冷却ファンが作動中に電源ボタンを1秒間押し続けます。

4. コンセントとプロジェクタから電源ケーブルとACアダプタの接続を外します。

メモ: プロジェクタの電源をもう一度入れる場合は、内部温度が安定するまで 60 秒待ちます。

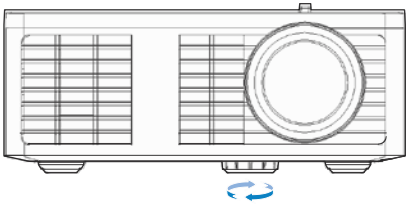
投影画像の調整

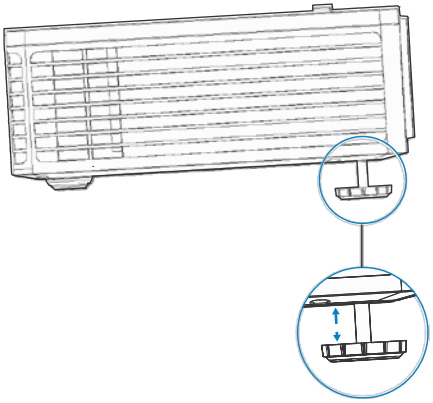
プロジェクタの高さを上げる

プロジェクタを任意の高さまで引き上げ ·前面傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を 微調整します。

プロジェクタの高さを下げる

プロジェクタを下げ ·前面傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を微調整します。





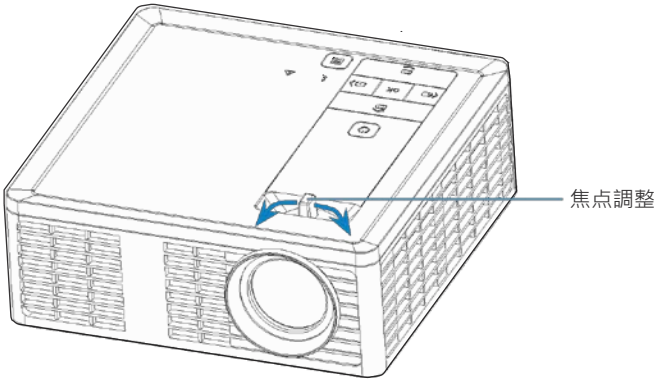
前面傾斜調整ホイール

(傾斜角度: 0 ~ 6度)

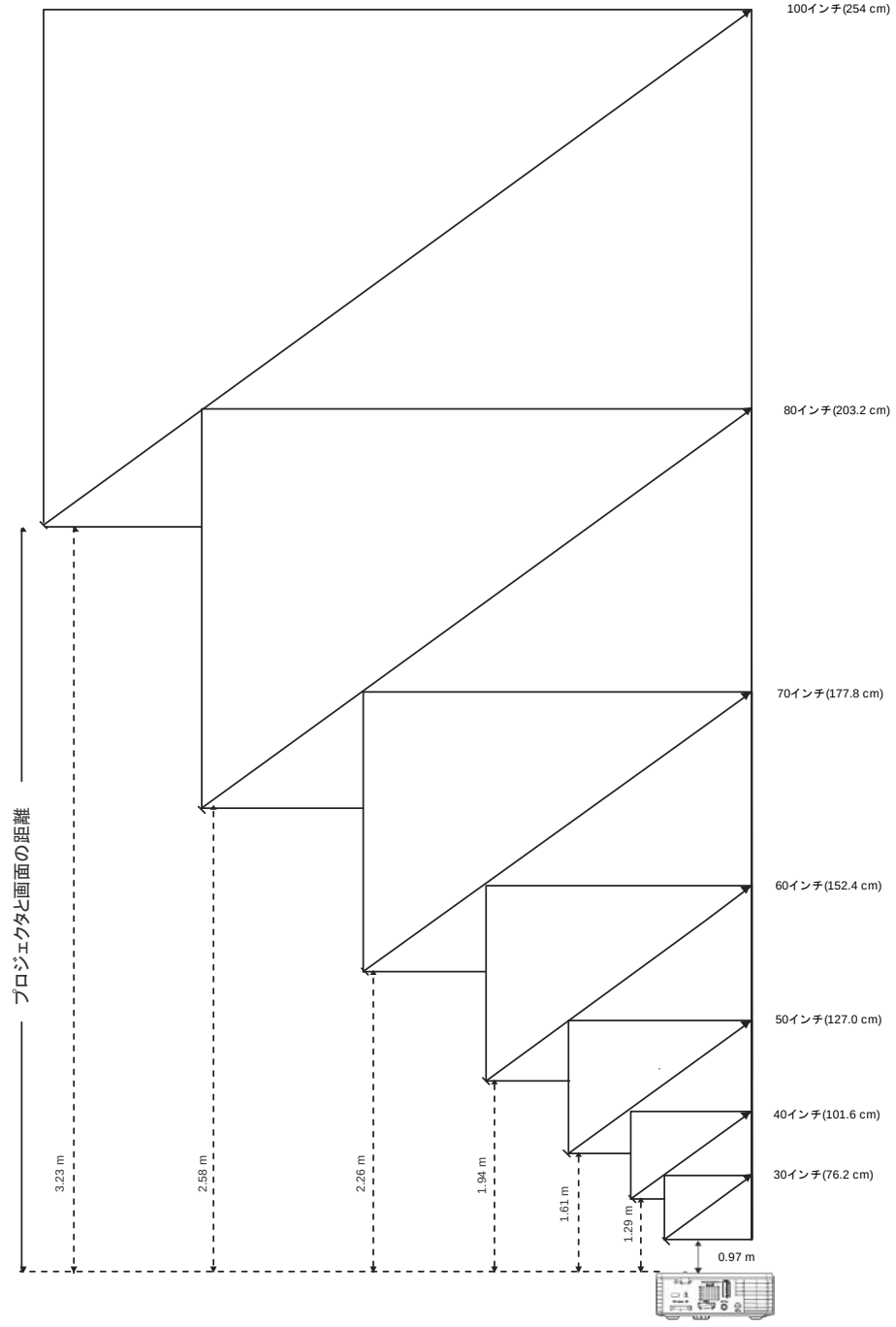
プロジェクタの焦点調整

注意: プロジェクタを移動したり キャリーケースに収納する場合には 調整ホイールが完全に 引っ込んでいることを確認して プロジェクタが破損しないようにします。

画像が鮮明になるまで焦点調整を回します。プロジェクタで焦点が合う距離は 97 cm ~ 323 cmです。

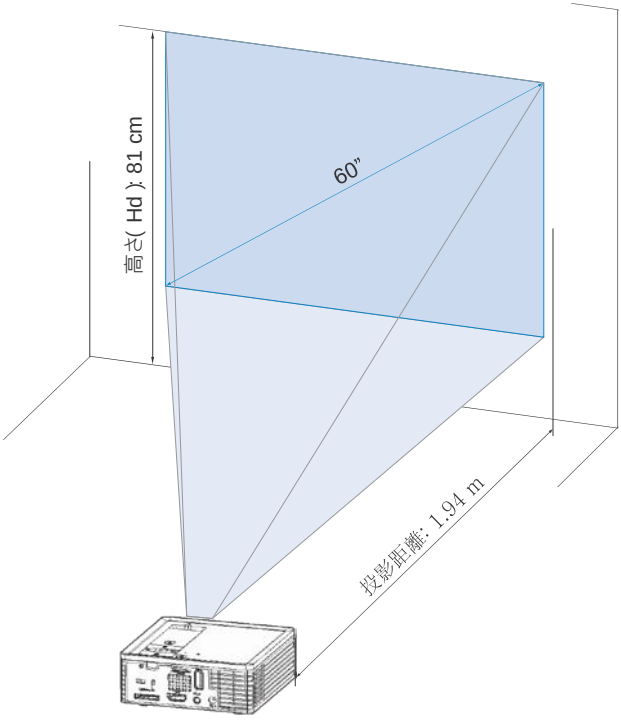


投影画像サイズの調整


100インチ(254 cm)
80インチ(203.2 cm)
70インチ(177.8 cm)
60インチ(152.4 cm)
50インチ(127.0 cm)
40インチ(101.6 cm)
30インチ(76.2 cm)
プロジェクタと画面の距離
3.23 m
2.58 m
2.26 m
1.94 m
1.61 m
1.29 m
0.97 m

3M™モバイルプロジェクターMP410

スクリーン（対角）	画面サイズ	高さ（Hd）	投影距離
30インチ（76.2 cm）	65 cm X 40 cm	40 cm	0.97 m
40インチ（101.6 cm）	86 cm X 54 cm	54 cm	1.29 m
50インチ（127.0 cm）	107 cm X 67 cm	67 cm	1.61 m
60インチ（152.4 cm）	129 cm X 81 cm	81 cm	1.94 m
70インチ（177.8 cm）	151 cm X 94 cm	94 cm	2.26 m
80インチ（203.2 cm）	172 cm X 108 cm	108 cm	2.58 m
100インチ（254.0 cm）	215 cm X 135 cm	135 cm	3.23 m



6. ユーザー制御

オンスクリーンディスプレイの使用方法

1. プロジェクタには多言語のオンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューがあり、入力ソースの有無に関わらず表示されます。
2. コントロールパネルまたはリモコンの **メニュー** ボタンを押して [メインメニュー] に移動します。
3. 選択メニューを選択するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの ▲ または ▼ ボタンを押します。
4. コントロールパネルまたはリモコンの ◀ または ▶ ボタンを使って設定を調整します。
5. OSDを終了するには、コントロールパネルまたはリモコンの**メニュー**ボタンを直接おします。

メインメニュー

言語

OSD用の言語を設定します。◀ を押して言語を選択し、▶ と Enter を押して言語を変更します。

ソース

ソースメニューを使ってプロジェクターの入力ソースを選択します。

- **自動**

  Enter を選択し押して有効にすると 、自動選択メニューが次の使用可能な入力ソースを自動検出します。

- **VGA**

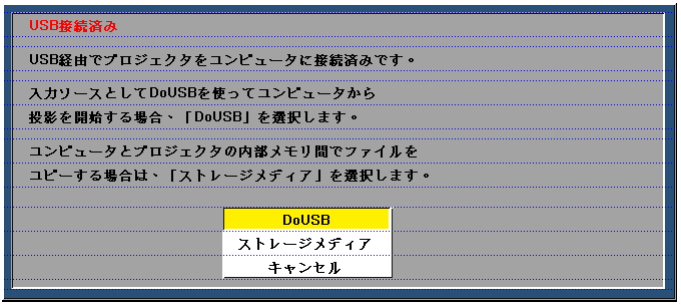
  Enter を押してVGA信号を検出します。

- **DoUSB**

  USBケーブル経由で 、プロジェクタにデスクトップ/ノートPCスクリーンを表示します。

メモ: USBケーブル経由でプロジェクタとコンピュータを接続すると「USBが接続されました 」というメッセージが表示され 、入力ソースをDoUSBまたはストレージのいずれかから選択することができます。

- 「USBが接続されました 」画面が次のように表示されます。



- ストレージメディア: コンピュータからコピー 、削除 、移動 、および詳細情報を実行できます(マイクロSDおよび内部メモリのみサポートしています)。

- **HDMI**

  Enter を押して HDMI 信号を検出します。

- **A/V イン**
  A/Vケーブルを経由してプロジェクタにオーディオ/ビデオソースを表示できます。
- **USB**
  USBフラッシュディスクから写真 オーディオまたはビデオファイルを再生できます。
- **マイクロSD**
  マイクロSDカードから写真 オーディオまたはビデオファイルを再生できます。
- **内部メモリ**
  プロジェクタの内部メモリから写真 オーディオまたはビデオファイルを再生できます。

ビデオモード

ビデオモードメニューでは ディスプレイ画像を最適化します。選択メニュー：明るさ 映画、PC ユーザー(お好み設定)およびプレゼンテーションモード。

オーディオ

オーディオメニューで プロジェクタの音量設定を調整できます。

◀ を押して音量を下げ ▶ を押して音量を上げます。

自動調整

自動調整を使って PC モードでプロジェクタの**水平**、**垂直**、**周波数**、**トラッキング**を自動的に調整します。

OSD Reset

Enter を選択して押すと、すべての設定が工場デフォルト値にリセットされます。
以下の警告メッセージが表示されます:

コンピュータソースやビデオソース設定もリセットされます。

詳細

ページ19～25の「詳細メニュー」を参照してください。

SN

プロジェクタのシリアル番号を表示します。

FW Version

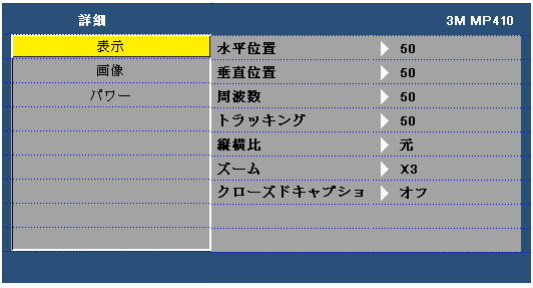
プロジェクタの現在のファームウェアバージョンを表示します。

詳細メニュー

詳細メニューで 表示 画像 およびパワーに関する設定を変更できます。

表示(*PC* モード)

Enterを選択して押し 表示設定を起動します。メニューには次の選択メニューがあります:



- **水平位置**

  ▲ を押して画像を右へ移動し ▼ を押して画像を左へ移動します。

- **垂直位置**

  ▲ を押して画像を上へ移動し ▼ を押して画像を下へ移動します。

- **周波数**

  ディスプレイのデータクロック周波数を変更し コンピュータのグラフィックスカードの周波数と合わせます。縦線がちらつく場合は 周波数コントロールを使って縦線を最小限に抑えます。(粗調整になります。)

- **トラッキング**

  ディスプレイ信号の位相をグラフィックスカードと同期化します。画像が不安定だったり、ちらつく場合は トラッキングを使って修正します。(微調整になります。)

■ **縦横比**

縦横比を選択して画像の表示方法を調整します。選択メニュー: **元**、**16:9**および**4:3**。

- 元: **元**を選択して入力ソースに従って画像プロジェクタのアスペクト**比**を維持します。
- 16:9: 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、16:9 スクリーン画像を投影します。
- 4:3: 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、4:3 画像を投影します。

■ **ズーム**

▲ または ▼ を押して、画面をズームし表示します。

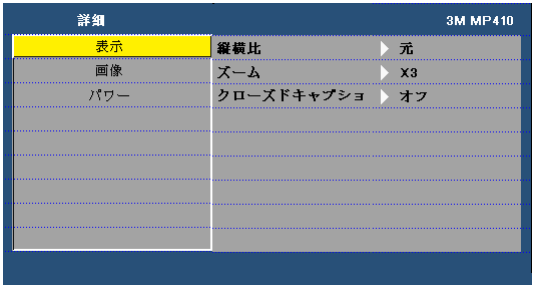
■ **クローズドキャプション**

オンを選択してクローズドキャプションを有効にし、クローズドキャプションメニューを起動します。適切なクローズドキャプション選択メニューの選択は**CC1**、**CC2**、**CC3**、および**CC4**になります。

メモ: クローズドキャプションの選択メニューは、NTSCでのみ使用できます。

表示(ビデオモード)

Enter を選択して押し、表示設定を起動します。メニューには次の選択メニューがあります:



■ **縦横比**

縦横比を選択して画像の表示方法を調整します。選択メニュー: **元**、**16:9**および**4:3**。

- 元: **元**を選択して入力ソースに従って画像プロジェクタのアスペクトを維持します。
- 16:9: 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、16:9 スクリーン画像を投影します。
- 4:3: 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、4:3 画像を投影します。

■ **ズーム**

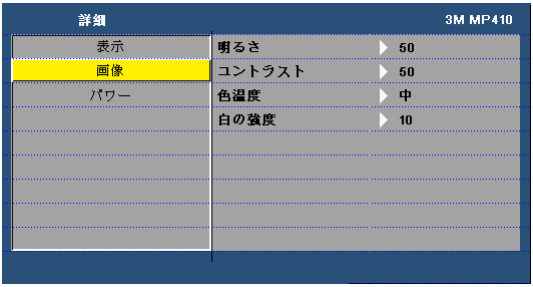
▲ または ▼ を押して、画面をズームし表示します。

■ **クローズドキャプション**

オンを選択してクローズドキャプションを有効にし、クローズドキャプションメニューを起動します。適切なクローズドキャプション選択メニューの選択は**CC1**、**CC2**、**CC3**、および**CC4**になります。

画像(*PC* モード)

Enter を選択して押し 画面設定を起動します。画像メニューには次の選択メニューがあります:



- **明るさ**

  ▲ や ▼ を押して画像の明るさを調整します。

- **コントラスト**

  ▲ や ▼を押してディスプレイのコントラストを調整します。

- **色温度**

  色温度を調整します。画面は 色温度が高いと寒色になり 色温度が低いと暖色になります。

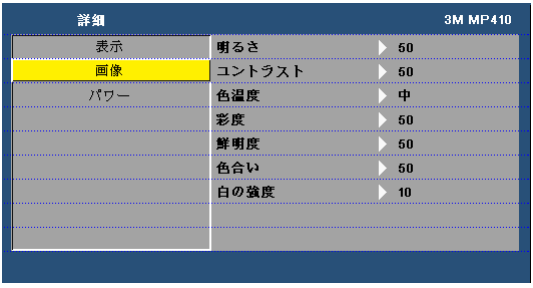
- **白の強度**

  Enter を押し ▲ と ▼ を使用して白の強度を表示します。

メモ: 明るさ コントラスト 色温度 彩度 鮮明度 色合い および白の強度の設定を調整する場合 プロジェクターは自動的にユーザーモードに切り替わります。

画像(ビデオモード)

Enter を選択して押し 画面設定を起動します。画像メニューには次の選択メニューがあります:



- **明るさ**

  ▲ や ▼ を押して画像の明るさを調整します。

■ **コントラスト**

▲ や ▼ を押してディスプレイのコントラストを調整します。

■ **色温度**

色温度を調整します。画面は、色温度が高いと寒色になり、色温度が低いと暖色になります。

■ **彩度**

ビデオソースを白黒から彩度のあるフルカラーに調整します。▲ を押して画像の色の量を増やし、▼ を押して画像の色の量を減らします。

■ **鮮明度**

▲ を押して鮮明度を上げ、▼ を押して鮮明度を下げます。

■ **色合い**

▲ を押して画像の緑色の量を増やし、▼ を押して緑色の量を減らします(NTSC 用にのみ使用可能)。

■ **白の強度**

Enter を押し、▲ と ▼ を使用して白の強度を表示します。

メモ:

明るさ、コントラスト、色温度、彩度、鮮明度、色合い、および白の強度の設定を調整する場合、プロジェクターは自動的にユーザーモードに切り替わります。 彩度、鮮明度、色合いは、入力ソースが*A/V*インである場合のみ使用可能です。

パワー(電源設定)

Enter を選択して押して 電源設定を起動します。電源メニューには次の選択メニューがあります:

■ **省電力**

オフを選択すると省電力モードは無効になります。プロジェクタは 120 秒 間動作しないと省電力モードに入るようデフォルト設定されております。(60 秒間のカウントダウンの後、省電力 モードに切り替わるという警告メッセージが表示されます。カウントダウンの間にどれかの ボタンを押すと 省電力モードは停止されます。)

省電力モードに入るまでの遅延時間は 他にも設定できます。(遅延時間とは 入力信号がない状 態でプロジェクタが待機する時間を意味します。)
省電力は **30分 60分 90分** または**120分**に設定 できます。遅延時間の間に入力信号が検出されると プロジェクタはオフになります。プ ロジェクターの電源を入れるには**パワー**を押します。

■ **LEDモード**

ノーマルまたは**エコ**モードから選択します。ノーマルモードは 全出力レベルで作動します。エコモードは低電力レベルで作動するため LEDの寿命が延び 操作が静かになり**ますが**、画面上の**明るさ**出力が弱くなります。

■ **投影モード**

プロジェクタの取り付け方法によって投影モードを選択できます。

- Front: これはデフォルト選択メニューです。
- Rear: プロジェクターは画像を反転表示します 透過画面の裏面から投影することができます。
- Front Ceiling: プロジェクターは 天井取り付けで投影するため画像を上下逆にします。
- Rear Ceiling: プロジェクターが画像を反転し 上下逆にします。天井取り付けで透過画面の裏面から投影できます。

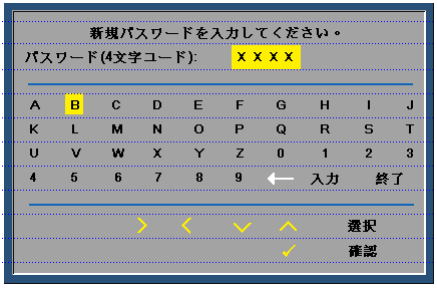
■ パスワード

パスワード保護が有効になっている場合は 、電源プラグをコンセントに挿入し 、プロジェ クタの電源を入れた時に 、パスワードの入力を求めるパスワード保護画面が表示されます。初期設定では当機能は無効になっておりますが、**有効**を選択することで 当機能を有効にさせることがで きます。

パスワードを事前に設定している場合 、まずはパスワードを入力してから機能を選択 します。 このパスワードセキュリティ機能は 一度、プロジェクタの電源を落とし、再度プロジェクタの電源を入れていただくことによりお使いいただけます。

1. 初回パスワード入力の要請:
   a. **パワー**メニューに移動 、Enterを押して 、**パスワード**を選択し 、パスワード設定を有効にします。

   b. パスワード機能を有効に**させる**と 、スクリーンがポップアップ表示されます。ス クリーンから4桁の数字を入力し 、Enterを押します。



   c. 確認のため 、パスワードをもう一度入力します。
   d. パスワードが認証されると 、プロジェクターの機能とユーティリティへのアクセスを再開できます。

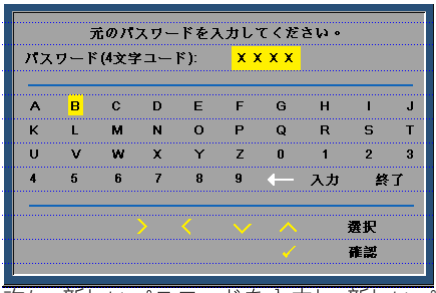
2. 間違ったパスワードを入力した場合、**残り2回以内に**正しいパスワードを入力する必要があります。3 回無効なパスワードを入力すると 、プロジェクタは自動的にオフになり ます。

メモ: パスワードをお忘れになられた場合、弊社では一切責任を負えませんので、お客様ご自身による自己管理責任にてご利用ください。

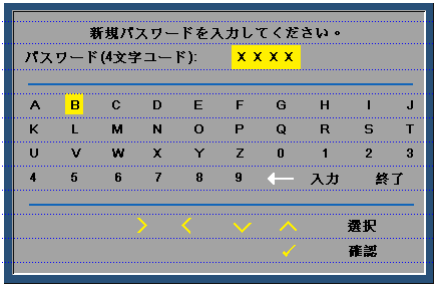
3. パスワード機能を無効にするには 、**オフにする**を選択して機能を閉じます。
4. パスワードを削除するには 、**削除**を選択します。

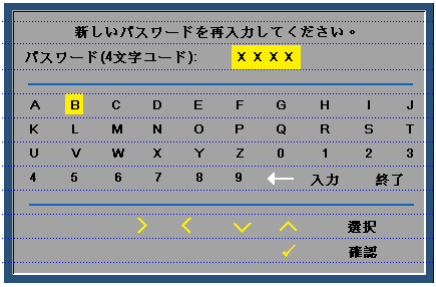
■ **パスワードの変更**

1. 元のパスワードを入力します。



2. 次に 新しいパスワードを入力し 新しいパスワードを再び確認します。





■ **Display Hour**

投影時間を表示します。

マルチメディアの概要

サポートされているマルチメディア形式:

写真形式

画像タイプ (拡張子名)	サブタイプ	エンコードタイプ	最大ピクセル	最大サイズ
Jpeg / Jpg	ベースライン	YUV420	無制限	2GB
		YUV422		
		YUV440		
		YUV444		
	プログレッシブ	YUV420	64xパネル解像度	2GB
		YUV422		
		YUV440		
		YUV444		
BMP			64xパネル解像度	

ビデオ形式

ファイル形式	ビデオ形式	プロフィールとレベル	最大解像度	最大ビットレート(bps)	オーディオ形式
MOV、MP4、AVI、MKV、DIVX	H264	4参照フレーム未満	1080P	20Mbps	AC3、DTS、MP1、MP2、MP3、PCM、ADPCM
MOV、MP4	MPEG4		1080P	20Mbps	AMR、PCM、ADPCM
WMV	WMV3	ベースライン、メイン	1080P	20Mbps	WMA2、WMA3

オーディオ形式

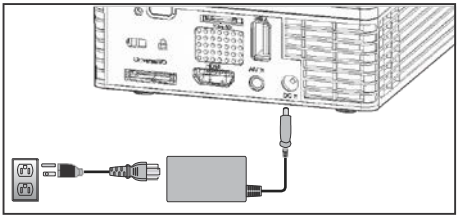
音楽タイプ(拡張子名)	サンプルレート(KHz)	ビットレート(Kbps)
MP1	8-48	8-320
MP2	8-48	8-320
MP3	8-48	8-320
WMA	22-48	5-320

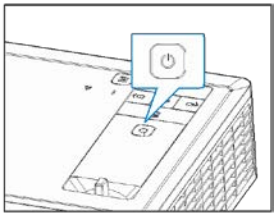
USBメモリーを使いファイルをセットアップする

メモ: USB機能を使用する場合 プロジェクタにUSBメモリーをつなぐ必要 があります。

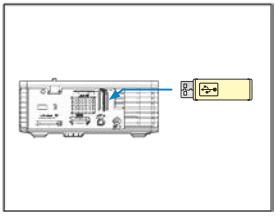
以下のステップに従って プロジェクタで写真 ビデオ または音楽ファイルを再生します。

1. ACアダプタを使って電源ケーブルを接続し **パワー**ボタンを押してプロジェクターの電源をオンにします。





2. **USBメモリー**をプロジェクタに差し込みます。



3. **ソース**メニューにアクセス **USB**選択メニューを選択して Enterボタンを押します。このステップで**USB**選択メニューが選択されている場合 画像入力ソースはマルチメディアメニュー に自動的に切り替わります。

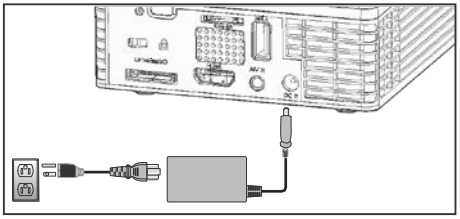
4. マルチメディアファイルを選択し **写真** **ビデオ** または**音楽** そして Enterを押して再生を開始します。または**セットアップ**選択メニューを選択して **写真** **ビデオ**または**音楽**の設定を変更します。

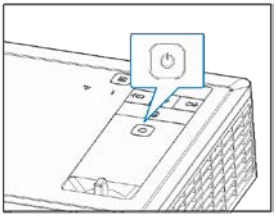
マイクロSDを使いファイルをセットする

メモ: マイクロSD機能を使用する場合 プロジェクタにマイクロ*SD*カードを入れる必要 があります。

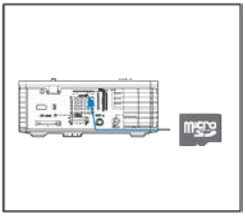
以下のステップに従って プロジェクタで写真 ビデオ または音楽ファイルを再生します。

1. ACアダプタを使って電源ケーブルを接続し **パワー**ボタンを押してプロジェクターの電源をオンにします。





2. **マイクロSDカード**をプロジェクタに差し込みます。マイクロSDカードを入れると 画像入力ソースはマイクロSD画面に自動的に切り替わります。



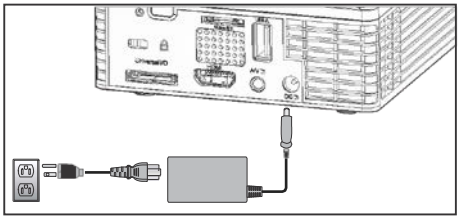
3. **ソース**メニューにアクセス **マイクロSD**選択メニューを選択、Enter Enterボタンを押します。このステップで**マイクロSD**選択メニューが選択されている場合 画像入力ソースはマルチメディアメニューに自動的に切り替わります。

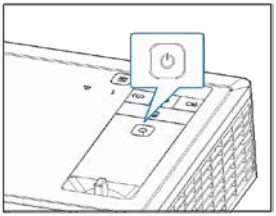
4. マルチメディアファイルを選択し **写真** **ビデオ** 又は**音楽を選択** 、Enter Enterを押して再生を開始します。または**セットアップ**選択メニューを選択して **写真** **ビデオ**または**音楽**の設定を変更します。

内部メモリを使いファイルをセットする

以下のステップに従って プロジェクタで写真 ビデオ または音楽ファイルを再生します。

1. ACアダプタを使って電源ケーブルを接続し **パワー**ボタンを押してプロジェクターの電源をオンにします。





2. **ソース**メニューにアクセス **内部メモリ**選択メニューを選択して Enterボタンを押します。このステップで**内部メモリ**選択メニューが選択されている場合 画像入力ソースはマルチメディアメニューに自動的に切り替わります。

3. マルチメディアファイルを選択し **写真** **ビデオ** または**音楽** そして Enter を押して再生を開始します。または**セットアップ**選択メニューを選択して **写真** **ビデオ**または**音楽**の設定を変更します。

マルチメディアメインメニュー

USB、マイクロSD、及び内部メモリに対するマルチメディアセットアップ

マルチメディアセットアップメニューでは、写真、ビデオおよび音楽の設定を変更します。

メモ: USB、マイクロSD、および内部メモリに対するマルチメディアセットアップメニューおよび設定は共通です。

写真設定

Enterを選択して押し 写真セットアップメニューを起動します。写真セットアップメニューには 次の選択メニューがあります。

- **ディスプレイモード**

  または を押して 画面の写真の表示モードを選択します。選択メニュー: **ファイルリスト** **閲覧モード** **サムネイル** および**スライドショー**。

- **ディスプレイ比**

  または を押して写真の表示比を**自動**(元の比率)または**フル**(フル画面)で選択します。

- **スライドショー表示時間設定**

  または を押してスライドショーの間隔を選択します。タイムアウトになった後 画像は自動的に次の画像に切り替わります。選択メニュー: **5秒** **15秒** **30秒** **1分** **5分** および**15分**。

- **スライドショー繰り返し**

  オンを選択してスライドショーをリピートします。または **オフ**を選択して 最後のページに達したときにスライドショーを停止します。

- **スライドショー効果**

  または を必要なスライドショーのエフェクトを選択します。選択メニュー: **アイランダム** **長方形** **オフ** **ヘビ** **パーティション** **消去** **ブラインド** **ライン** **グリッドの十字表示** **十字** **らせん**。

メモ: スライドショー表示時間設定 スライドショー繰り返し およびスライドショー効果機能は スライドショーモードのみサポートします。

ビデオ設定

Enterを選択して押し、ビデオセットアップメニューを起動します。ビデオセットアップメニュー には次の選択メニューがあります。

- **ディスプレイ比**

  ▲ または ▼ を押してビデオの表示比を選択します。

  - 自動: 元の縦横比を保持します。
  - フル: 全画面。

- **再生モード**

  ▲ または ▼ を押してビデオ再生モードを選択します。選択メニュー: **1回**、**1回繰り返し**、**繰り返し**、**アイランダム**。

- **自動再生**

  オンを選択して、ビデオリストに入るときに自動的にビデオを再生します。

音楽設定

Enterを選択して押し 音楽セットアップメニューを起動します。音楽セットアップメニューには 次の選択メニューがあります。

- **再生モード**

  または を押してビデオ再生モードを選択します。選択メニュー: **1回** **1回繰り返し**、**繰り返し** **アイランダム**。

- **スペクトル表示**

  オンを選択して 音楽の再生中にスペクトラムプロットを表示します。

- **自動再生**

  オンを選択して 音楽リストに入るときに自動的に音楽を再生します。

ファームウェア更新

Enterを選択して押し、FIRM更新メニュー設定を起動します。ファームウェア更新には次の選択メニューがあります:

- **メディア**

  はいを選択して、ファームウェア更新画面に移動し、**確認**選択メニューを選び、**マイクロSD**カードによりメディアのファームウェアを更新します。

- **イメージプロセッサー**

  はいを選択して、ファームウェア更新画面に移動し、**確認**選択メニューを選択して、**マイクロSD** カードによりビデオデコーダーのファームウェアを更新します。

メモ: メディアおよびイメージプロセッサーのファームウェア更新は、**マイクロSD**インターフェースのみ をサポートします。ファームウェアファイルを**マイクロSD**カードに格納する必要があります。

7. 付録

トラブルシューティング

プロジェクタに問題が生じた場合は、次のトラブルシューティング集をご参照ください。

問題	解決方法
画面に画像が表示されない	• プロジェクタの電源がオンになっていることを確認します。 • OSDソースメニューで、正しい入力ソースを選択していることを確認してください。 • 外部グラフィックスポートが有効になっていることを確認します。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。 • すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。 • コネクタのピンが曲がったり、折れたりしていないことを確認します。
画像が一部しか表示されない、スクロールする、または、正しく表示されない。	• コントロールパネル上の**自動調整**ボタンを押します。 • ノートパソコンをお使いの場合は、コンピュータの解像度をWXGA(1280 x 800)に設定します。 • 解像度を変更できない場合や、モニターがフリーズする場合は、すべての装置とプロジェクタを再起動します。 • 画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。
画面にプレゼンテーションが表示されない。	• ノートパソコンをお使いの場合、出力設定を切り替えます。例: [Fn]+[F4]キー。
画像が不安定、または、ちらつく。	• **詳細**メニューの**OSD表示**設定でトラッキングを調整します(PCモードのみ)
画像に縦線が入る。	• **詳細**メニューの**OSD表示**設定で周波数を調整します(PCモードのみ)
画像の焦点が合わない。	1. プロジェクタレンズの焦点調整を調整します。 2. 投影画面がプロジェクタから許容距離内にあることを確認します(97 cm ~ 323 cm)。

問題	解決方法
16:9 DVD を表示すると画像が伸びる。	• プロジェクタは自動的に入力信号形式を検出します。投影画像の縦横比を入力信号形式に従って元の初期設定で維持させます。 • 画像がそれでも伸びる場合、**詳細**メニューの**表示**設定でアスペクト比を調整します。
エラーLEDがオレンジ色に点滅	• プロジェクタのファンが故障し、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。
温度LEDがオレンジ色に点灯	• プロジェクタが過熱されており、ディスプレイは自動的にシャットダウンします。プロジェクタを冷ましてから、ディスプレイの電源をもう一度入れます。
温度LEDがオレンジ色に点滅	• プロジェクタのファンが故障すると、自動的に停止します。**パワー**ボタンを10秒間押し続けることで、プロジェクターモードを消去してください。5分間お待ちいただいてから、再び電源をオンにしてください。
リモコンがスムーズに動作しない、または、限られた範囲でしか動作しない。	• 電池の残量が少なくなっており、新しい CR2025電池との交換が必要です。

ガイド信号

プロジェクタステータス	説明	電源 (青/オレンジ色)	温度 (オレンジ色)	エラー (オレンジ色)
スタンバイ モード	スタンバイモードのプロジェクタ。電源を入れる準備ができました。	青色 点滅	オフ	オフ
ウォームアップモード	プロジェクタをウォームアップして電源を入れるまでしばらく時間が掛かります。	青色	オフ	オフ
LEDオン	通常モードのプロジェクタ 画像表示の準備ができました。 メモ: OSD メニューにアクセスしていません。	青色	オフ	オフ
冷却モード	プロジェクタは冷却されてシャットダウンします。	青色	オフ	オフ
プロジェクタが過熱	通気口が塞がれているか 周囲温度が35℃を超えていることが考えられます。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。通気口が詰まっておらず 周囲温度が動作範囲内にあることを確認します。	オフ	オレンジ色	オフ
ファンが故障	ファンの 1 つが故障しました。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。	オフ	オレンジ色 点滅	オフ
LED故障	LEDがシャットダウンしています。	オフ	オフ	オレンジ色

互換モード(アナログ/デジタル)

解像度	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数(KHz)	ピクセル·クロック(MHz)
640 x 350	70.087	31.469	25.175
720 x 400	70.087	31.469	28.322
640 x 480	59.940	31.469	25.175
640 x 480	75.000	37.500	31.500
640 x 480	85.008	43.269	36.000
800 x 600	60.317	37.879	40.000
800 x 600	75.000	46.875	49.500
800 x 600	85.061	53.674	56.250
1024 x 768	60.004	48.363	65.000
1024 x 768	75.029	60.023	78.750
1024 x 768	84.997	68.677	94.500
1280 x 720	59.855	44.772	74.500
1280 x 1024	60.020	63.981	108.000
1280 x 1024	75.025	79.976	135.000
1280 x 768	59.87	47.776	79.500
1360 x 768	60.015	47.712	85.500
1680 x 1050	59.954	65.290	146.250
1440 x 900	59.887	55.935	106.500
1920 x 1080	60.000	67.500	148.500
1280 x 800	59.810	49.702	83.500
1280 x 720	59.855	44.772	74.500
720 x 480 p60	59.940	31.469	27.000
720 x 576 p50	50.000	31.250	27.000
1280 x 720 p60	60.000	45.000	74.250
1280 x 720 p50	50.000	37.500	74.250
1920 x 1080 i60	60.000	33.750	74.250
1920 x 1080 i50	50.000	28.125	74.250
1280 x 768-R60	59.995	47.396	68.250
1280 x 768	74.893	60.289	102.250
1280 x 768	84.837	68.633	117.500
1280 x 800-R	59.910	49.306	71.000
1280 x 800	74.934	62.795	106.500
1280 x 800	84.880	71.554	122.500
1440 x 900	74.984	70.635	136.750

仕様

項目	仕様
ライトバルブ	0.45インチWXGA S450 DMD、DarkChip3™
明るさ	300 ANSIルーメン(標準)
コントラスト比	10000:1 標準(フルオン/フルオフ)
均質性	80% 標準(日本規格 – JBMA(日本事務機械工業会))
画素数	1280 x 800 (WXGA)
内部メモリー	1 GBメモリ(最大)
表示可能な色	10.73億色
投影レンズ	• F ストップ: F/ 2.0 • f=14.95 mm • 固定レンズ • 投影比 =1.5 ワイドおよび望遠 • オフセット比: 100%
投影画面サイズ	30-100インチ(対角)
投影距離	97 cm ~ 323 cm
ビデオ互換性	• コンポジットビデオ: NTSC (M、3.58、4.43)、PAL (B、D、G、H、I、M、N、4.43)、SECAM (B、D、G、K、K1、L、4.25、4.4) • コンポーネントビデオ入力(VGA経由) 1080i (50/60 Hz)、720p (50/60 Hz)、576i/p、480i/p • HDMI 入力: 1080p、720p、576i/p、480i/p
電力供給	ユニバーサルAC 100-240 50-60 Hz、65 W電源アダプタ付き
消費電力	• 通常モード: 55 W ± 10% @ 110 Vac • エコモード: 45 W ± 10% @ 110 Vac • 標準モード< 0.5 W
オーディオ	1 ワット RMSスピーカー1個
ノイズレベル	• 36 dB(A) 明るいモード時 • 34 dB(A) プレゼンテーションモード時 • 32 dB(A) エコモード時
質量	約360g (本体のみ)
寸法(幅 x 高さ x 奥行)	107 x 43 x 106 mm

項目	仕様
環境条件	• 動作温度: 5 °C ~ 35 °C 湿度: 最大80% • 保管温度: 0 °C ~ 60 °C 湿度: 最大80%
I/O コネクタ	• 電源: DC電源ジャック1つ • VGA 入力 アナログRGB入力信号用の24ピンユニバーサル コネクタ(黒) およびサポートしているオーディオ出力。 • HDMI 入力: 1 つの HDMI コネクタ (HDMI 1.3 のサポート用)。HDCP 準拠。 • AV入力: オーディオ/ビデオ入力をサポートするための3.5 mm コネクタ1つ。 • USB(タイプA)ポート: USB表示をサポートするためのUSB コネクタ1つ、マルチメディア再生(ビデオ/オーディオ/写真)、USB メモリストレージアクセス(USBフラッシュドライブ/内部メモリ)。 • マイクロSDカードスロット: マルチメディア再生(ビデオ/音楽/写真)をサポートするための**マイクロ**SDコネクタ1つ および サポートしているメディアとイメージプロセッサーのファーム ウェア更新。
光源	• LED(ノーマルモードで最大20,000時間)

メモ

300ANSIルーメン(標準)は、保証値ではありません。

プロジェクタのLED寿命定格は明るさの低下のみを測定、LEDが故障するまでの時間を計測したものではございません。

LEDの寿命は、明るさが定格ルーメンの 50パーセントまで減少する時間として定義されます。

プロジェクタLEDの寿命定格はいかなる方法でも保証されません。また、プロジェクタLEDの実際の動作寿命は操作条件と使用パターンにより異なります。

埃っぽい環境、高温下および突然の電源遮断を含むストレスの多い条件下で、長時間プロジェクタを使用すると、LEDの動作寿命が短くなったり、LEDが故障する原因となります。

8. 保証書について

●保証書は、お買上げ日・販売店などの記入をお確かめになり、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

●保証期間はお買い上げになった日から 1 年間です。

無料修理規定

1. 取扱説明書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合は、商品と本書をご持参・ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。無料修理をさせていただきます。

2. 修理やその他お取り扱いにより内部メモリーに登録された内容が変化・消失する場合があります。万がーデーターが変化・消滅した場合は、弊社では一切の責任は負いかねます。予め、バックアップを取られてから修理依頼いただきますようお願い申し上げます。

3. 故障内容によっては、修理できず、新品もしくは後継モデルとの代替対応となる場合がございますので、予めご了承ください。

4. 次のような場合は、保証期間内であっても有料とさせていただきます。

   (1)ご使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷

   (2)お買い上げの後の輸送、落下などによる故障および損傷

   (3)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、および異常電圧、指定外の使用電源などによる故障および損傷

   (4)ご使用上のキズ、変色、汚れ、保管上の不備による故障および損傷

   (5)消耗部品の交換

   (6)本書のご提示がない場合

   (7)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。

   This warranty is valid only for Japan

6. 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

7. 転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店または住友スリーエム　モバイルソリューションズ　カスタマーサポートセンターへご相談ください。

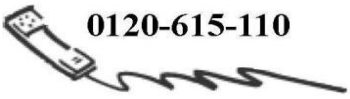
この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。
ご不明の点は、お買い上げの販売店または住友スリーエム　モバイルソリューションズ　カスタマーサポートセンターへご相談ください。本説明書は予告なく変更になる場合がございます。
最新情報に関しては弊社ホームページをご覧ください。

3M™モバイルプロジェクター 保証書	
品番	MP410
保証期間	お買い上げ日より1年間
※お買い上げ日	年　　月　　日
※お客様	ご住所　〒 お名前　　様 お電話　　（　　）
※販売店	住所 店名 電話

※印のついた欄に記入のない場合、この保証書は無効となりますので、必ず記入の有無を確認してください。記入のない場合、無効となりますので、保証書と共に購入日が証明できるものを大切に保管してください。

住友スリーエム　モバイルソリューションズカスタマーサポートセンター

受付時間：9:00～17:00（土・日・祝日を除く）



住友スリーエム株
モバイルソシューションズプロジェクト部
本社　〒158-8583　東京都世田谷区玉川台 2-33-1